

GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

4月号

2010年4月1日 Vol.188

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

Tel 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



人間ドックの本当の姿・・・

理事長・院長 高木 由利



桜のつぼみが少し開き始め、美しい季節が到来しました。毎年ニュースで今年は例年になく早く咲くとか遅いとかを騒いでいますが、そんな人間の思いとは関係なく自然はいつも一番ふさわしい時に桜を咲かせているのですね。

* * *

当院の人間ドックは2006年にリニューアルされ、受診者数は年々増えています。アンケート調査を見ると、ドック内容が充実している割には料金が手頃、スタッフの対応が良い、ドック終了後のドクターの面談が丁寧など嬉しい結果ばかりです。

私は4年間ドックの面談担当をしていますが最近新たな発見をしました。当院のドックは20才代から30才代の方が大変多いのです。どうしてこんなに若い方が多いのか私は不思議でした。自分が若い頃は病気の心配など何もした事がなく、年1回の職員健診しか受けていなかったからです。でも受診者の方々とお話をしていると、ご自分の体のことをとても真剣に考え、たくさん質問や気になることを話して下さるのでした。

ある日、21才の男性の受診者の方の面談をしてい

る時に興味深い質問がありました。“胸の奥が時々ピチッと痛くなるんです。何年も前からあります。10秒位で治ってしまうのですが、ずっと心配でした。でもすぐ治るので医者にも行けないし悩んでいました。”病気というにはあまりにも小さい症状ですが、この方は何年も気がかりだったのでしょう。痛い時に診てもらいたいがすぐに治まってしまうので、医者のところにも行けず悩んでいたその気持ちが私の心を捉えたのです。

ご自分の体調や病気のことだけでなく、劣悪なテレビの情報に振り回され悩んでいたるときも、このドクター面談の中で解決できたらと願っています。

1人の医師と心ゆくまで語り合うことができる満足感を得て頂くのが当院の人間ドックの本当の姿ではないかと私は考え始めました。

ドック担当のドクターは当院で日常診療を行っている第一線の現場のドクター達です。是非、積極的にドックを受けてみて下さい。皆様の生活がきっと豊かになると信じています。

はじめまして!! 事務部長の箕輪です。

みのわ

事務部長 箕輪 比呂志



この3月より、前職の関係で20年程前からご縁があった織本病院で働かせて頂くことになりました。東京都江戸川区小岩に生まれ、その後、東中野を経て、小学校2年から田無市（現西東京市）に移り住み、多摩の自然に感動して過ごした少年時代でありました。東中野では子供の遊びとしては、お寺の境内でのセミ取りぐらいしかありませんでしたが、なんと当時の田無には、たくさんのカブトムシやクワガタがクヌギ林に、また小川にはザリガニや小魚がいて、自然林に近い姿の小金井公園もありました。これらの環境が探究心旺盛で多感な少年であった私にいつもワクワク感を与え、十分に子供心を満たしてくれました。また、一番の相棒であったお気に入りの自転車を駆って、友達や愛犬と野山を駆け巡ったものでした。今でも自然に触れると当時と同じ空気を感じることがあります。ご参考までに、自転車のタイプは、その当時は大変高価であった15段ギアのドロップハンドルで両親への交渉の末、苦難の道を乗り越えて手に入れた最新鋭機種でした。今でもスポーティーな車に憧れるのは、この頃からの気質なのかもしれません。

探究心旺盛であった少年時代に培った気質は、50

代半ばにしても全く変わって

おりません。ある意味では成長していないということなのかもしれませんが、このような自分の特徴を生かし、織本病院に来院して頂いている患者様、更には地域医療に貢献できるように尽力したいと考えております。たまたま、かなり昔に撮影されたであろう緑豊かな林に囲まれた織本病院の航空写真を見たことから、感じたままを書かせて頂きました。

清瀬市のシンボルツリーはケヤキ、花はサザンカ、鳥はオナガです。自然を肌で感じながら、この地で新たな仕事に微力ながら取り組んで行きたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

【趣味】

ゴルフ・乗馬・スキー・ギター・ガーデニング・ドライブ・海外旅行・料理・水彩画（最近）・アンティーク家具収集・コーラス（織本病院混声合唱団所属）

電信柱から電信柱まで

外来クラーク 主任 坂内 繁子



生活習慣病の患者様が今までの生活習慣を見直し、毎月どのように奮闘されているかの報告を医師に語られているのをお聞きしていると、ふっと思い出す光景があります。私が電信柱から電信柱へと目標に走っていた頃の光景です。

娘の参観日に親の競技として、クラス対抗の大縄跳び大会がありました。私はどちらかというと運動は何

でも出来る子供時代を送ってき

ましたので、スポーツには自身がありました。しかし、出産を期に体重は増加し、加えて子供の食べ残しを“もったいない”ときれいに平らげる毎日。当時の体重は67kgまで増加していました。私は身長153cmですので標準体重は51kgです。大縄跳びに+16kgのお肉を担いでの参加となりました。クラス一斉に縄

が回される中、私は必死に飛びました。飛んで、飛んで…。ところが重い身体は思うように飛び上がってくれないのです。結果は、私の足が引っ掛かり終わりとなりました。そのまま私は体育館の隅になだれ込むように倒れました。息を吸っても吐いても、吸えない吐けないほど呼吸困難になり、しばらくは動けませんでした。“このままではいけない！”とダイエットを決意しましたが、歩けば膝が痛くなり、体操すれば腰が痛くなり、ダイエットは苦痛になり思うようにいきませんでした。走れば1等賞、元陸上部で鍛えた脚でしたが、体重増加のため走る希望を完全に失うことになっていきました。

そんなうな垂れていたある日、1本道の電信柱に目

が止まりました。“そうだ！電信柱から電信柱までなら走れるかもしれない！”と思ったのです。今思うと、たいした距離ではないのですが、当時の私の体重では息の上がる大変な距離だったのです。1本目の電信柱がクリアできたら次の電信柱まで。できたらまたその次へと距離を延ばしていきました。

挫折を何度も繰り返しました。それから何年も経ってからですが、織本病院に就職して食事の見直しをコツコツすることで1年で20kgの減量に成功したのです。日々様々な困難を背負って生活をしている私ですが、1つ1つを電信柱から電信柱へと目標を持ってこれからも走っていきたいと思います。きっと先には素晴らしい未来があるのですから…。

Dr.OKADAの 徒然なるまゝに…

さくら



内科 岡田仁史



“さいた さいた さくらが さいた”。さすがに私はそこまで古くはない。だが、尋常小学校1年の国語、1ページ目がこれであることを聞かされて育った。桜の季節がやってきた。今日現在（3月20日）、テニスコートの桜たちはつぼみを膨らませ、ちょっとピンクがかった。日中22℃と暖かいが西風が激しい一日である。開花予想通り24日には咲くのだろうか。

年を取ったのか、桜が開花することを心待ちするようになった。若い頃、私は桜が嫌いであった。これ見よがしに咲き揃い、一斉に散り道路を汚す。私がかげにする車に雨に濡れてへばり付いたその花弁は、干からび、こびり付き、容易には剥がせなくなる。

現在、私たちがよく目にする桜の多くは、ソメイヨシノである。ご存知の方が多いと思うが、その歴史は比較的浅く江戸時代後期と言われている。わが国では散りぎわの潔さが為、武士道の好しとされ、予科練の徽章に用いられている。今年の桜の時期、NHKハイビジョンで桜の銘木を扱った番組を観た。その多くもソメイヨシノであり、その桜たちは、あの、戦争に繋がっていた。ソメイヨシノという桜は、何とも美しく、儚く、悲しい花である。

私は“お花見”なる習慣が嫌いである。桜が咲くのを待つ身になっても“花見”は嫌いである。これも江戸時代に始まったらしい。しかし、江戸、明治を越え、あの戦争を知ってしまったソメイヨシノの下で、呑めや歌えの大騒ぎ、挙句、ゴミの山を築く日本人たちを見ると、怒りがこみ上げてくる。ソメイヨシノの下で“お花見”をする資格があるのは、あの、戦争で散っていった若者たちのみであると思う。彼らは、靖国の桜の木の下で会おうと散っていった。彼らこそ、ソメイヨシノの下で花見酒を呑むにふさわしいと思う。

年とともに、私が心待ちにするようになった桜は、とても悲しい花である。

外来診療体制変更のお知らせ

【外来診療日程の変更】

- ▶ 外科 花岡 建夫 —— 火・水曜日から月・火曜日(午前)に変更
- ▶ 乳腺外来 花岡 建夫 —— 水曜日から月曜日(午後)に変更
- ▶ 腎不全外来 高木 由利 —— 金曜日午後から午前に変更(水曜は変更なし)

【担当医の変更】

- ▶ 整形外科 —— 金子 天哉
- ▶ 内視鏡(土曜日) —— 矢野 雄一郎
- ▶ 内科新設(月・火・木) —— 齋藤 圭子

外来診療体制表

	月		火		水		木		金		土	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科					○	○						
脳神経外科			○ ※1			○			○ ※1		○ ※2	○ ※3
肛門科			○								○ ※4	
循環器科	○						○		○		○ ※5	
泌尿器科				○								
皮膚科		○										
専門外来	腎不全外来				○					○		
	乳腺外来		○									
	睡眠時無呼吸外来									○		○
	カウンセリング				○							

○ 完全予約制
○ 予約可能（予約のない方も受付可能ですが予約された方が優先となります）

午前受付 8:30～11:30（診療開始 9:00）
午後受付 13:30～16:30（診療開始 14:00）

- ※1 火曜は10:00・金曜は9:30から診療開始
- ※2 第2土曜日は休診
- ※3 15:00まで・第2土曜日は休診
- ※4 第4土曜日のみ診療
- ※5 第1・第2土曜日のみ診療

第109回 腎疾患ゼミナール

『腎不全を理解しよう!! ③』

～検査データに変化が出たとき その3～

腎臓内科：高木由利

栄養科からのワンポイントアドバイス

『でんぷん米を使って“ちまき”を作ろう!!』

管理栄養士：伊藤 夢見

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

日時：2010年4月15日(木)
午後1:00～
会場：オリモトホール(当院4F)
参加費：無料